学校教育目標 ：「自律」・「尊重」・「挑戦」を大切にする学びがある学校～自ら未来を拓く「エージェント」としての主体性の育成～

岩松小学校だより

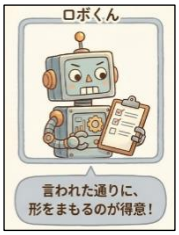
学校だより　第２７号
令和８年１１月６日発行
発行者　校長　真子靖弘

本当の目的ってなんだろう？



11/2(月)の全校集会で、**「本当の目的ってなんだろう？ ～自分たちの手で愉しい学校をつくろう～」**をテーマに校長講話を行いました。学校生活の３つの出来事を例に**「手段」と「目的」**について考えました。

①**あいさつ運動**：「一列に整列すること」より「心を込めて互いに挨拶を交わすこと」
②**体育館への集合**：「指示通り並んで歩くこと」より「自分で時間を見て安全に集まること」
③**毎日の宿題**：「言われたまま書く作業」より「今の自分に必要な学びを自ら考えること」



学校のルールはすべて「みんなが安全に過ごし、成長するため」にあります。形にとらわれず**「何のためにやるのか」**を考えることこそが主体性の原点です。**高学年**には「本当の目的」を伝えるリーダーシップを、**下学年**には自ら考える習慣を期待しています。「言われたからやる学校」から「自分たちで考え、愉しくする学校」へ、子どもたちの主体的な挑戦をしっかり見守ってまいります。

【子どもたちの感想や疑問】

１年：「なぜ、宿題はしなければいけないの？」
２年：「とても面白い話でした。先生はいつ『なぜ』を考えたことがありますか？次のテーマも楽しみです。」
３年：「指示されたことだけでなく、自分から動くことも大事だとわかりました。本当の目的を見つけられました。」
４年：「当たり前だったことに『なぜ』という疑問が湧いてきました。共感できたのでこれからは考えて行動します。」



５年：「校長先生は子どもの頃どっちだったのかな？これからは何のためにやっているのかを考えようと思います。」
６年：「自分で考える主体性をもって行動していきたいです。」

「かっけーOTONA！」第２弾～イメージを形にする生き方～

10/27(火)に、5・６年生を対象にキャリア教育企画**「かっけーOTONA!」**プロジェクトの**第 ２ 回**を実施しました。今回のゲストは、旧江里口鮮魚店を改装した話題のセレクトショップ**「todays（トデイズ）」**のオーナーであり、アーティストとしても活躍されている**松田厚一郎**さんです。

■「自分はどうなりたいか」を思い描く



絵が好きで「好きなことを仕事にしたい」と歩んできた松田さん。福岡で 15 年間活動した後に地元・小城の魅力に気づき、3 年前「小城で好きなことをやろう」と決意されました。あえて旧江里口鮮魚店の看板を残し、絵や盆栽を売る空間を作ったのは「人に心地よい違和感を持たせたい」という工夫と、40 年近く店を守ってきた 100 歳のシズエおばあちゃんの思いを引き継ぐためでした。改装も自分たちで行い、「建築士でなくても、散歩で見かけた芝生を天井につけたりと、イメージがあれば素人でも形にできる」と体験談を語ってくださいました。



■好きなことを形にするワークショップ

後半は「好きなことやなりたい自分」を絵にするワークショップを行いました。「絵の上手下手は関係ない。消防士など好きなものを描こう。まだ見つかっていない人はたくさん遊ぶ中で見つけ、ルールを守って追求していけばいい」という言葉に、子どもたちは安心して絵を描きました。「諦めたらそこで失敗。『自分はまだまだできる！』と素敵な勘違いをしながら、イメージして進む癖をつけてほしい」と熱いメッセージをいただき、完成した作品には思い出として日付を書き入れました。最後には「シズエさんステッカー」も贈られ、子どもたちは大喜びでした。

温かく優しい語りの中に、夢を追う強さが溢れる時間となりました。**イメージを形にする体験は子どもたちの今後に大きく活きてくる**はずです。